

株式会社 九州電化

〒812-0068 福岡県福岡市東区社領3丁目4-8
TEL 092-611-3461 HP <https://www.k-denka.co.jp>



公式HP

業 種 電気メッキ製造業
従業員数 94名
資 本 金 1,000万円

事業内容

九州・福岡からめっきの輝きを届けます

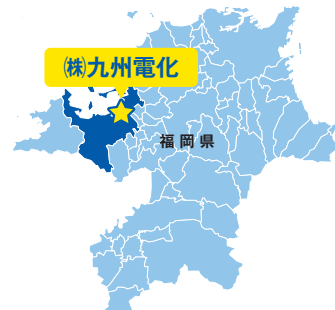
1960年創業。長年培ってきた技術・ノウハウをベースに、めっき・表面処理のスペシャリスト企業として多品種で豊富な加工へと既存事業を拡大。卓越した技術により「現代の名工」表彰を社員2名が受賞。
他、最新の装置を用いた品質保証体制を活かした受託評価事業、技術開発力の可能性を大きく広げる医療機器開発事業も展開。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 14回 (支援期間:10カ月)

- 請求書Web化及び文書のデジタル化による電子帳簿保存法対応の推進
- 社内放送設備のデジタル化とネットワーク環境改善によるDXの推進



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

当社は、「2025年の崖」対策として数十年使用してきた基幹システムを更新し新システム(統合型グループウェア)を導入しましたが、社内ネットワークの整備が進んでいないこともあり、システム化は一部業務に留まり、全社的には手作業による書類の作成、保管、閲覧の業務が残っていました。具体的には、経理部門では請求書の印刷、封入、切手貼りが手作業で手間が掛かり、営業部門では見積書が紙保管のため過去の見積書検索に時間が掛かっていました。

また、社内放送に関しては、準備運動として重要な毎日のラジオ体操の放送セットや猛暑日のこまめな休憩や水分補給の放送などが手動での操作であるため総務部に大きな負荷が掛かっていました。

このような中、2024年1月の電子帳簿保存法対応に向け、社内ネットワーク環境の整備を行い全社のDX化の推進により業務改善を図るとし、支援をお願いしました。

No.	作業名	上旬(1~10日)		中旬(11~20日)		下旬(21~31日)		作業者
		日	時間	日	時間	日	時間	
1	売上伝票入力 計上 割合:ファイリング	4		8		8		S
2	伝票書の入力	3.5		7		7		T
3	請求書入力	1		2		2		W
4	見積	1		20		20		T
5	見積	0.75		15		15.5		S
6	見積書の 集計 入力	0.75		15		15.5		Tou
7	請求書 集計 入力	0.75		15		15.5		Tou
8	請求書集計書作成	1.5		18		18		M.S
9	請求書入力	1.5		15		15		W
10	請求書集計 入力確認	0.5		10		11		W
11	請求書集計 出金書取付	0.5		10		11		W
12	請求書集計	0.5		10		11		Y
13	請求書集計	0.5		10		11		T
14	請求書集計	0.5		10		11		T
15	請求書集計	0.5		10		11		T
16	請求書集計	0.5		10		11		W
17	請求書集計	0.5		10		11		W
18	請求書集計	0.5		10		11		T
19	請求書集計	0.5		10		11		S
20	請求書集計	0.5		10		11		S
21	請求書集計	0.5		10		11		S
22	請求書集計	0.5		10		11		S
23	請求書集計	0.5		10		11		S
24	請求書集計	0.5		10		11		S
25	請求書集計	0.5		10		11		S
26	請求書集計	0.5		10		11		S
27	請求書集計	0.5		10		11		S
28	請求書集計	0.5		10		11		S
29	請求書集計	0.5		10		11		S
30	請求書集計	0.5		10		11		S

総務部門の業務棚卸しと工数分析

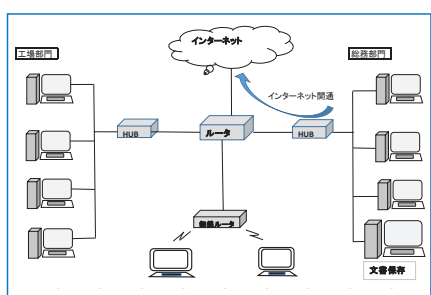
No.	業務課題	緊急性	重要性	実現性	採用
1	請求書Web化	◎	◎	◎	○
2	電子帳簿保存法対応	◎	◎	◎	○
3	グループウェアの活用	○	○	○	○
4	現場の日報管理のデジタル化	△	○	△	×
5	顧客管理のデジタル化	△	○	△	×
6	受注書(注文書)のシステム化	△	△	△	×
7	工場設備のデジタル化	△	△	×	×
8	社内放送設備のデジタル化	○	○	◎	○

課題の絞込み

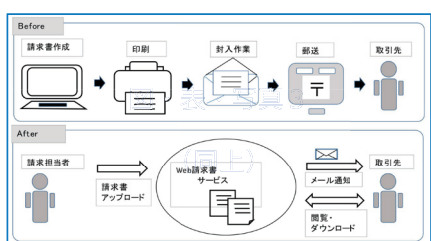
Q 改善の取組み内容を教えてください

業務改善が必要な業務は多岐に亘っていますが、緊急度・重要度及び実現性を検討し今回以下の4点に絞り業務改善に取り組めました。

- ① 総務部門の印刷・封入・切手貼り・投函の作業時間短縮、印刷・切手代の削減に向け、社内ネットワーク環境と総務部門のインターネット環境の改善と請求書のWeb化に取り組めました。
- ② 電子帳簿保存法の対応には、取引文書を保存し、取引先、日付、金額を検索可能とする対応ソフトの導入に取り組めました。
- ③ 総務部門と現場とのネットワーク連携、および社内通知電子化により、営業部の見積状況をリアルタイムで確認可能にしました。さらに社内書類の一部電子化に取り組めました。
- ④ アナログで行っていた社内放送は、パソコン連携放送アンプ取替とプログラムタイマー新設で、毎日の手動操作をなくし総務業務を省力化しました。



社内ネットワーク環境と総務部門のインターネット環境の改善



請求書のWeb化

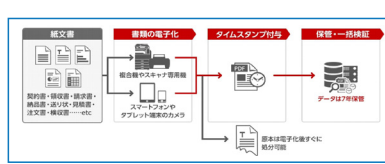
Q 取組んで良かった点を教えてください



メインの
効果
(改善点)

- ① 請求書のWeb化により、総務部門の請求事務が9.5時間/月削減できました。
- ② 電子帳簿保存法への対応では、書類の電子化と全社の情報共有が可能となり書類保管作業や資料検索時間が9.5時間/月減りました。
- ③ 総務部門と現場とのネットワーク連携の実現では、過去の資料の検索や集計時間が16時間/月削減されたことで、お客様対応の時間短縮を実現し顧客満足度向上につながりました。

また、④ 社内放送設備のデジタル化により総務部門の業務1.5時間/月削減の他、緊急通知等災害時の備えが可能となりました。

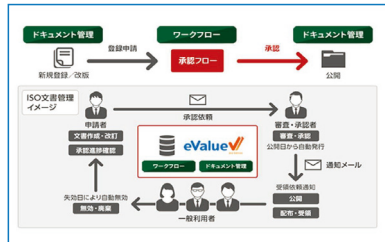


電子帳簿保存法への対応



副次効果

今回、社内ネットワーク環境を改善し書類のデジタル化を進めることで業務改善につながり、DXに対する取組みの必要性や有効性を理解でき、従業員の意識改革にもつながったと考えています。



グループウェアの活用



今後の目標

今後は、工場の生産管理業務、日報管理、全社の勤怠管理等のシステム化を進め社内のDX化推進により、さらに業務改善に取り組んでいきたいと思っています。



デジタル化した社内放送設備

企業様の声

急速なデジタル化が進む中、当社ではまず何から取り組めば良いのか模索しておりました。そこで、小野アドバイザーに入っていたいただき、当社の状況を伝えることで、何が問題でどんな改善をしていかなければならないか、広い視野でアドバイスをいただきました。結果、一つの改善が多くの生産性向上につながり、経営課題の発見や今後の経営方針への手がかりとなりました。



株式会社九州電化
取締役副社長
山田 佳代子 様

生産性アドバイザーから一言

2023年は、インボイス制度対応、電子帳簿保存法対応と通常業務以外にも作業対応が増えてくる状況の中、全社DXの推進が必要との強い意思のもと、日々の業務に流されることなく業務改善、生産性向上に取り組まれた結果、一定の成果が出たのではないかと思います。社内の改善、DX化は、まだまだ必要だと考えられていると思いますので今後も一歩一歩積み重ねて行かれることを期待します。



生産性アドバイザー
小野 哲夫